



調査開始から約15年

大曲歴史サークルが 「大曲の歴史(一)」を刊行



道立文書館の資料から作成した明治時代の
大曲の地籍図。どこにどんな人物が住んで
いたかが分かります(円内は現在の大曲中央通
と国道36号の交差点の辺り)



大曲の歴史を調査している「大曲歴史サークル」が、約15年にわたり調べてきた成果を本にまとめました。

大曲の詳しい歴史について分かる文献がないことに、地域の有志が危機感を覚え、調べようと提案したのがきっかけでした。まちの歴史を学ぶことは、まちを愛することにつながると考え、サークルをつくり活動を開始。昔の様子を覚えていての方が年々少なくなっている。今話を聞いておかないと分からなくなると思いました。会員の皆さんは話します。当初は、調べるほどに不明な部分が出てきて大変だったそう。昔の大

曲について覚えていらっしゃる方から話を聞いたたり、道立文書館や道立図書館に出掛けたりして、丹念に調査。予定より大幅に遅れながらも昨年末ようやく本が完成しました。

明治の開拓時代から近年までの移り変わりや、市史に取り上げられていない人物、出来事、かつてあった商店なども記載されています。「昔はこうだったね、懐かしい」と読んだ方から感想が寄せられました。

サークルには、明治14年に入植し地域の発展に貢献した富谷平吉の子孫・富谷春子さんも所属。調査を進めるうちに自分の家系についても詳しく分かり、うれしかったそう。

「大曲の歴史(一)」はエコミュージアムセンター知新の駅や市図書館、各地区図書館などで見ることができま。今回収録しきれなかった内容を、第2巻として来年に刊行を予定しています。



第2巻の刊行に向けて準備を進める会員の皆さん

まめ記者

「翔躍」に向けて



大曲中学校2年
小笠原匠さん
(生徒会長)

大曲中学校は第1・13期間テーマ「翔躍」に向かつて、さまざまな活動を行っています。その中でも、生徒会各委員会が連携して行う「生活強調週間」は、あいさつなど、当たり前でできなくてはならないことを、さらに意識して生活しようという取り組みです。この活動により、全校生徒の生活態度などへの意識が高まっています。

また、「中学校区ボランティア」という活動を行っています。清掃、募金、除雪など、地域と深く関わるこの活動は、普段何気なく登校している通学路も、ゴミがないか、くまなく確認するなど、地域に対する思いを強くすることにも役立っています。

他にも大曲中学校をより良くするために、いろいろな活動を行っています。大曲中学校、そして、生徒全員が1つ上のステップに「翔躍」できるように、学校全体で協力し合い活動を積み重ねていきたいです。



赤い羽根共同募金の様子